

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 松本油脂製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4365 URL <http://www.mtmtvs.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 山田 正幸

TEL 072-991-1001

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	22,773	9.6	3,069	82.5	4,242	128.9	2,659	128.0
25年3月期第3四半期	20,785	0.3	1,681	71.5	1,853	86.6	1,166	206.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 3,561百万円 (158.1%) 25年3月期第3四半期 1,379百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	290.02	—
25年3月期第3四半期	114.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	51,540	41,217	79.6
25年3月期	46,960	38,232	80.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 41,034百万円 25年3月期 38,005百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,100	10.3	3,600	50.6	4,300	58.3	2,800	74.8	305.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	11,281,629 株	25年3月期	11,281,629 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	2,111,569 株	25年3月期	2,110,958 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	9,170,451 株	25年3月期3Q	10,177,363 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しておりますが、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代を機に為替や株価に好転の兆しが見られ、明るさを取り戻しつつありますが、反面エネルギーコストの上昇や原材料価格の高騰懸念が国内産業に影響を及ぼし始めており、依然として先行きは不透明な状況であります。中東での反体制運動は長期化の様相を呈しておりますが、欧州の信用不安は小康を保っており、米国の雇用回復など、徐々にではありますが、世界経済は回復基調にあると見受けられます。

当社グループの重要な販売分野である国内繊維産業におきましては、海外生産が更に拡大しており、その影響を受けております。国内大手顧客の不採算製品の生産中止、中小顧客の廃業等、依然として厳しい状況が続いております。一方海外の繊維産業向けでは、欧州の不振は長引いていますが、米国の雇用回復に伴う経済回復の影響を受け、中国をはじめとするアジア諸国も経済回復が予測されます。

非繊維分野におきましては、国内の自動車生産は震災の影響から順調に回復し、堅調に推移しておりますが、中国向け部品生産は停滞しております。住宅関連は2014年度の消費税増税の影響で生産増加の兆しが見えております。

このような状況下、当社グループでは、販売・利益を確保するため、競争力のある高品質・低価格商品の開発を行うとともに、市場ニーズに合致した商品の早期開発に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高22,773百万円（前年同四半期比9.6%増）、営業利益3,069百万円（前年同四半期比82.5%増）、経常利益4,242百万円（前年同四半期比128.9%増）、四半期純利益2,659百万円（前年同四半期比128.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

日本における当第3四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は22,276百万円（前年同四半期比9.6%増）、セグメント利益（営業利益）は3,078百万円（前年同四半期比91.4%増）となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内合繊メーカー各社が縮小傾向の中、安定した販売実績となりました。海外への販売におきましては、中国合繊メーカー各社への拡販により販売数量が伸び、外部顧客に対する売上高は2,384百万円（前年同四半期比11.1%増）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内では、消費低迷と繊維製品の低価格化によりテキスタイル分野の加工量が減少しました。炭素繊維は航空機向けを中心に回復基調で推移しました。また、化学工業分野では洗浄剤原料の販売が増加しました。海外では欧州向け需要が低迷する中、弾性繊維分野は不調ですが、工業用繊維分野、衣料繊維分野、高機能繊維分野ともに販売数量を伸ばしました。その結果、外部顧客に対する売上高は13,396百万円（前年同四半期比12.2%増）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、繊維関連加工剤の販売は加工量が減少し、低調な結果となりました。化学工業分野では原料価格値上げに伴う製品価格の是正に努めるとともに、新規洗浄剤原料の販売増加もあり、外部顧客に対する売上高は828百万円（前年同四半期比9.5%増）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維関連では、織布向け製織用糊剤の販売が在庫過多による生産調整でやや減少しました。非繊維関連では、液晶分野設備の投資低迷が徐々に解消され、設備投資関連資材の販売が増加に転じました。化粧品原料は堅調に推移しております。建材関係でも徐々に回復の兆しが見えており、自動車分野向けの有機高分子製品の販売も好調に推移しました。その結果、外部顧客に対する売上高は5,667百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。

② インドネシア

インドネシアにおける当第3四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は496百万円（前年同四半期比9.4%増）、セグメント利益（営業利益）は46百万円（前年同四半期比6.5%減）となりました。為替はルピア安の傾向で、全体的に販売数量は前年並みとなりましたが、販売金額は増加しております。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、販売数量、販売金額ともに大きな進展は見られず、外部顧客に対する売上高は3百万円（前年同四半期比15.0%増）となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、スパン用、フィラメント用平滑剤は糊剤の低迷に伴い販売数量が減少しました。合織の紡糸、紡績、コーニングオイル油剤の販売数量は前年並みで推移し、精錬剤も前年並みとなりました。その結果、外部顧客に対する売上高は249百万円（前年同四半期比22.9%増）となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、販売数量、販売金額ともに大きな進展は見られず、外部顧客に対する売上高は1百万円（前年同四半期比37.6%減）となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、燃糸物の販売比率が依然として高く、第3四半期は仮燃糸の販売が増加し、糊剤の需要も増加しました。しかし、中国から糸、縫製品の輸入が増加し、フィラメント織物については加工量が減少しております。自動車、オートバイ用のタイヤ離型剤の販売数量は前年並みに推移しました。その結果、外部顧客に対する売上高は241百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という）比4,579百万円（9.8%）増加して、51,540百万円となりました。流動資産は前期末比3,199百万円（9.6%）増加の36,456百万円、固定資産は前期末比1,379百万円（10.1%）増加の15,083百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、現金及び預金が3,408百万円前期末より減少したものの、有価証券が6,111百万円、受取手形及び売掛金が1,266百万円前期末よりそれぞれ増加したことによるものであります。

固定資産増加の主な要因は、機械装置及び運搬具が165百万円前期末より減少したものの、投資有価証券が1,581百万円前期末より増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比1,594百万円（18.3%）増加の10,322百万円となりました。流動負債は、前期末比1,020百万円（12.5%）増加の9,161百万円、固定負債は前期末比573百万円（97.7%）増加の1,160百万円となりました。

流動負債増加の主な要因は、賞与引当金が136百万円前期末より減少したものの、買掛金が864百万円、未払法人税等が288百万円前期末よりそれぞれ増加したことによるものであります。

固定負債増加の主な要因は、繰延税金負債が610百万円前期末より増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前期末比2,984百万円(7.8%)増加して41,217百万円となりました。

純資産増加の主な要因は、利益剰余金が2,109百万円、その他有価証券評価差額金が921百万円前期末よりそれぞれ増加したことによるものであります。この結果自己資本比率は、前期末の80.9%から79.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、通期業績予想に対する進捗率が売上高75.7%、営業利益85.3%、経常利益98.7%、四半期純利益95.0%となっており、いずれも予想を上回るペースで推移しておりますが、経済情勢及び為替の動向も不透明でありますので、平成25年11月7日公表の業績予想を変更しておりません。なお、今後の業績推移等によって通期業績予想の修正を行う必要がある場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,381	15,972
受取手形及び売掛金	7,845	9,112
有価証券	1,231	7,342
商品及び製品	1,886	1,708
仕掛品	414	409
原材料及び貯蔵品	1,062	1,020
繰延税金資産	344	461
その他	1,092	431
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	33,256	36,456
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,428	6,536
減価償却累計額	△4,167	△4,325
建物及び構築物(純額)	2,261	2,211
機械装置及び運搬具	10,100	10,219
減価償却累計額	△8,569	△8,854
機械装置及び運搬具(純額)	1,530	1,365
土地	530	531
建設仮勘定	68	36
その他	1,502	1,499
減価償却累計額	△1,373	△1,383
その他(純額)	128	115
有形固定資産合計	4,519	4,260
無形固定資産		
その他	17	14
無形固定資産合計	17	14
投資その他の資産		
投資有価証券	8,592	10,174
その他	579	638
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	9,167	10,808
固定資産合計	13,703	15,083
資産合計	46,960	51,540

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,319	6,183
短期借入金	700	700
未払法人税等	817	1,106
賞与引当金	273	137
その他	1,030	1,034
流動負債合計	8,140	9,161
固定負債		
退職給付引当金	292	253
資産除去債務	96	98
繰延税金負債	103	713
その他	94	94
固定負債合計	587	1,160
負債合計	8,727	10,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,517	6,517
利益剰余金	28,777	30,887
自己株式	△3,598	△3,600
株主資本合計	37,786	39,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	434	1,355
為替換算調整勘定	△215	△215
その他の包括利益累計額合計	218	1,139
少数株主持分	227	183
純資産合計	38,232	41,217
負債純資産合計	46,960	51,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	20,785	22,773
売上原価	16,216	16,798
売上総利益	4,568	5,974
販売費及び一般管理費	2,887	2,905
営業利益	1,681	3,069
営業外収益		
受取利息	29	37
受取配当金	52	65
持分法による投資利益	48	91
為替差益	246	894
投資事業組合運用益	—	11
その他	126	104
営業外収益合計	503	1,205
営業外費用		
支払利息	4	3
投資事業組合運用損	317	—
その他	9	28
営業外費用合計	331	32
経常利益	1,853	4,242
特別利益		
固定資産売却益	—	18
関係会社株式売却益	12	—
特別利益合計	12	18
特別損失		
固定資産除却損	8	—
投資有価証券評価損	68	—
特別損失合計	76	—
税金等調整前四半期純利益	1,789	4,260
法人税、住民税及び事業税	566	1,562
法人税等調整額	24	45
法人税等合計	591	1,608
少数株主損益調整前四半期純利益	1,197	2,652
少数株主利益又は少数株主損失(△)	31	△7
四半期純利益	1,166	2,659

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,197	2,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	215	921
為替換算調整勘定	△21	△23
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	11
その他の包括利益合計	181	908
四半期包括利益	1,379	3,561
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,359	3,580
少数株主に係る四半期包括利益	20	△19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	20,331	453	20,785
セグメント間の内部売上高 又は振替高	155	32	187
計	20,487	485	20,972
セグメント利益	1,608	49	1,658

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,658
セグメント間取引消去	10
棚卸資産の調整額	12
四半期連結損益計算書の営業利益	1,681

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	22,276	496	22,773
セグメント間の内部売上高 又は振替高	216	39	256
計	22,493	536	23,030
セグメント利益	3,078	46	3,124

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,124
セグメント間取引消去	△51
棚卸資産の調整額	△4
四半期連結損益計算書の営業利益	3,069

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。